

要 望 書

北九州市長 北橋健治 殿

福岡県立東筑高等学校 同窓会
暁の松（折尾高等女学校）
会長 林シヅエ、卒業生一同



『6連赤煉瓦アーチ高架橋を残してください』

盛夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

現在、「折尾総合整備事業」にて、『折尾の宝以上に国民の財産である歴史遺産』が、この9月末から壊されようとしています。

このように、折尾の文化や歴史が無くなってしまいう計画になったことの1つに、私たち世代が次世代の子や孫に、折尾の文化や歴史を伝えてこなかったことを悔いています。

この度、折尾駅舎だけでなく、『6連のアーチ高架橋』の折尾駅側3連が取り壊されるとお聞きしました。「折尾総合整備事業リーフレットのイメージ図」や「南側駅前広場の歩道の広い図」の資料を、いつも北九州市職員の方が説明に使用されていますので、私たちは、『6連のアーチ高架橋』は1つの建造物として残るもの

と信じておりました。西鉄電車ビルのみ取り除くと、『6連のアーチ高架橋』が初めて人の目にふれます。幻の工法であり、日本最大級の「ねじりまんぼ」を含む「6連アーチ高架橋」の景色は雄大であり、人々に感動を与えます。

折尾駅舎の取壊しが少し延期になりましたので、道の中央に、町のシンボルになるように建てられた「折尾駅」と「6連アーチ高架橋」を一緒に見ることは、本当に今だけしかなく、衰退した今の折尾の街を元気にする起爆剤にきつとなります。

北九州市マスタープランの折尾の地域目標に『歴史と自然を大切に守り、潤いゆたかで魅力的な街をつくる：近代化産業の歴史や身近な水辺などの自然を活かし、住む人が誇りを感じ、訪れる人に感動と癒しを与える折尾らしさのある魅力的なまちを形成していきます。』と書いてあります。これを、是非、実行してくださいませ。

北橋市長様は、「地域の文化や歴史を活かしたまちづくりにする」と公言されていますので、私たちは信じています。

100年も経った歴史建造物を全て壊してしまつて、無味乾燥な、折尾の特色も無くしたコンクリートの街になることを想像すると、悲しくてなりません。

お願いですから、『6連のアーチ高架橋』を若松駅の二の舞にしないでください。巷では、「公衆便所のような、今の若松駅」はいらなかったと残念がっているのをご存知でしょうか。

どうか、歴史遺産を活かしての再開発をお願い申し上げます。

8月中旬に、西鉄電車(オリオンプラザ第2)ビルの取り壊し工事の入札があり、西鉄電車ビルと「3連のアーチ高架橋」の取り壊しは一緒にされると聞きました。

「3連のアーチ高架橋」が壊されることを思うと、身が切られる思いで眠れません。

どうか、西鉄電車ビルだけの取り壊しをお願い申し上げます。

それから、公務で大変お忙しいとは存じますが、是非、折尾の現地にて歴史遺産を見て、直接に私たちの話を聞いてください。日時は、北橋市長様の空いているお時間にいつでも合わせます。朝早くから夜遅くまで、いつでも構いません。取り壊してからでは遅すぎます。

北橋市長様、年寄りの最後の願いと思って、どうかお聞き届けくださいませ。

大至急、お返事をお待ちしております。